

Panasonic®

パナソニックオートストロボ 取扱説明書

品番 **PE-60SG**

保証書別添付



上手に使って上手に節電

このたびはパナソニックストロボPE-60SGをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

そのあと保存し、必要なときにお読みください。

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

安全上のご注意	2~6	マニュアル撮影	18
各部の名称とはたらき	7~8	露出補正	19
操作パネルについて	9	スレーブ機能の使い方	20
使用上のご注意	10	増灯時の集合写真	21
TRパワーパック3型の接続	11	デーライト撮影	22
ブラケットの取付け方	12	モデリング撮影	23
カメラへの取付け方	13	お手入れや保管のしかた	24
シャッタースピードの選択	14	故障かな	25
オート撮影	15	仕様	26~27
オート撮影のご注意	16	別売付属品	28
バウンス撮影	17	保証とアフターサービス	29~30

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

 **警告**

**電源コード・プラグを破損する
ようなことはしない**



火災・感電の原因となります。

禁止

- 傷つけたり、加工したり、高温部に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、機器に巻き付けたり、束ねたりしないでください。

分解、改造はしない



火災・感電の原因となります。

分解禁止

- 修理や内部の点検は、販売店にご相談ください。

警告

発光部を人の目に近づけて発光させたり、手や物で覆ったまま発光させない



禁止

視力傷害、やけど、火災の原因となります。

ACユニット使用時、電源コードの抜き差しは、プラグを持って行う



コードの断線や、火災、感電の原因となります。

万一、ストロボが熱くなる、煙が出る、焦げ臭いなどの異常を感じたら、直ちに使用を中止して、可燃物を離す。



火災、火傷の原因となります。

ストロボを水につけたり、水をかけたりしない



水ぬれ禁止

火災、感電の原因となります。

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

**ニカド電池、ニッケル水素電池
は専用充電器を使用する**



液漏れ、発熱、破裂の原因となります。

電池の極性（+-）を逆に入れない



禁止

液漏れ、発熱、破裂の原因となります。

**電池は火の中に入れてたり、充電、
ショート、分解、加熱しない**



禁止

液漏れ、発熱、破裂の原因となります。

**古い電池と新しい電池、種類の
異なる電池を混用しない**



禁止

液漏れ、発熱、破裂の原因となります。

警告

**可燃性ガス・爆発性ガス等の
雰囲気中使用しない**



禁止 爆発・火災の原因となります。

**外装ケース等が破損し、内部が露
出したときは、露出部に触れない**



禁止 感電の原因となります。

注意

**アルカリ電池、ニカド電池、ニッ
ケル水素電池以外を使用しない**



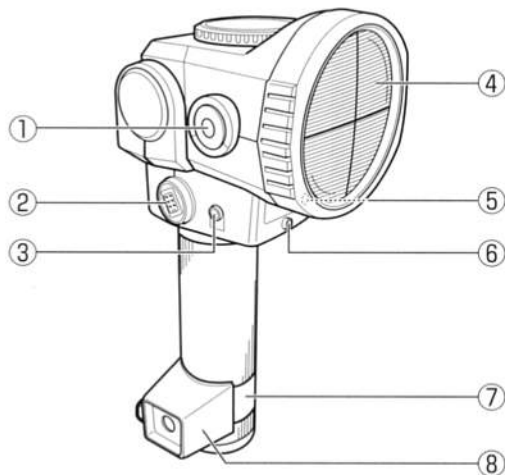
禁止 液漏れ、発熱、破裂の原因となり
ます。

**長期間使用しないときは、電池
をTRパワーパックから取り出す**



液漏れの原因となります。

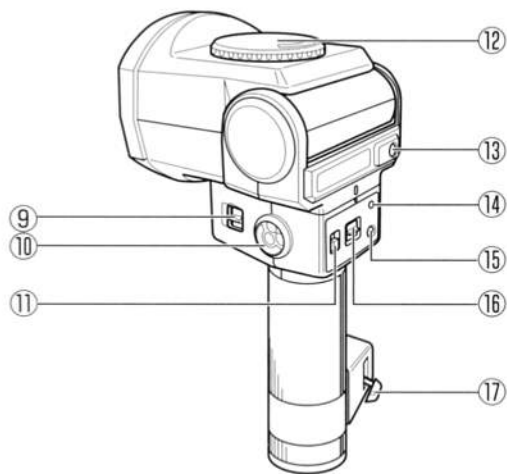
各部の名称とはたらき1



35ミリ用ブラケット

- ①露出補正ダイヤル
光量の微調整を行います (P19)
- ②リモートセンサソケット
別売のリモートセンサ、プレス用シンクロコードを差し込むソケットです (P28)
- ③シンクロコードソケット
カメラと接続するシンクロコードのソケットです (P13)
- ④発光部
- ⑤スレーブ受光窓 (P20)
増灯時、他のストロボ光検知する受光窓です
- ⑥オート受光窓
オートモード時、ストロボ光を検知する受光窓です
- ⑦クランプリング (P12)
- ⑧クランプモールド (P12)
ブラケットを差し込みます

各部の名称とはたらき2



1mシンクロコード

- ⑨電源コードソケットロック解除ノブ
電源コードを外す時、ロック解除するノブです (P11)
- ⑩電源コードソケット
電源コードを差し込むソケットです (P11)
- ⑪サウンド切替スイッチ
オートチェックやパイロットランプ点灯をサウンド又は、消音に切替えるスイッチです
- ⑫操作パネル
各種機能を設定するパネルです (P9)
- ⑬モデリング発光ボタン
押す事によって、モデリング発光します (P23)
- ⑭オートチェックランプ
オートモード時のオート作動検知ランプです (P16)
- ⑮パイロットランプ兼フラッシュボタン
充電完了ランプとテスト発光ボタンです
- ⑯バウンスロック解除ノブ
左右バウンス作動時のロック解除ノブです (P17)
- ⑰ロックレバー
ブラケットロック解除レバーです (P12)

操作パネルについて

ISO表示窓

フィルム感度を表示します

ISO切替つまみ

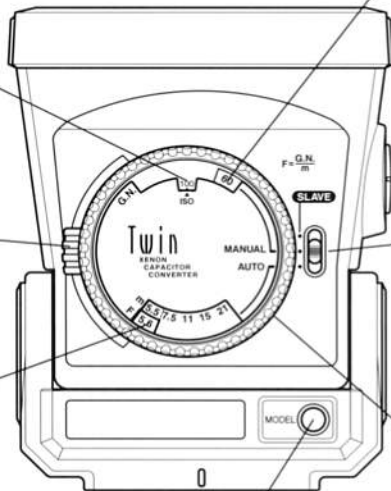
このつまみでフィルム感度を切替えます

オートF値表示窓

AUTO撮影時のF値を表示します

モデリング発光ボタン

押すとモデリング発光します



ガイドナンバー表示窓

MANUAL・SLAVE時のガイドナンバーを表示します

露出補正ダイヤル

光量の微調整を行います

モード切替スイッチ

発光モードをSLAVE↔MANUAL↔AUTOに切替えます

F値/ガイドナンバー切替ダイヤル

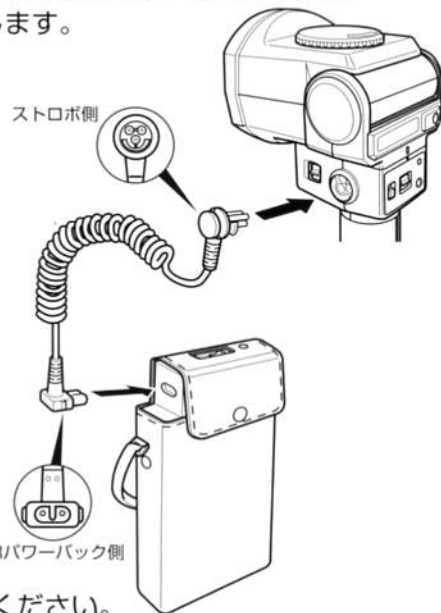
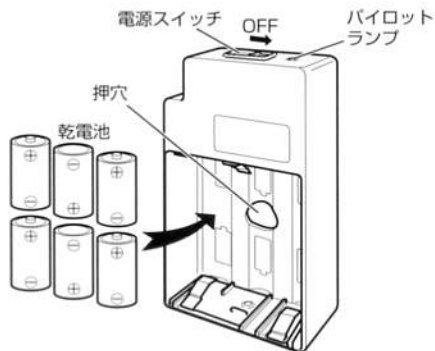
F値/ガイドナンバーを切替えます

使用上のご注意

- 高温のところに放置しないでください。
40℃以上になるような場所に放置したり、保管しないでください。高温になると内部構造に悪影響があります。(特に夏期の自動車内での置き忘れにご注意ください。)
- PE-60SGは防水・防滴仕様ではありません、水分のかかるような場所では使用しないでください。
- マニュアルモードのフル発光の際は発光部、電源部が高温になります、連続発光は20回を目安に休止時間を設けてください。
- ニッケル水素電池を使用される場合
過充電や過放電は電池の性能が低下します、避けてください。
正しく充電を行っても、充電時間が長くなったり、発光回数が極端に少なくなった場合は寿命切れです。交換してください。
- アルカリ電池を使用される場合
温度の低い場所で使用される場合、常温時に比較して電池の性能が低下します。予備の電池を準備ください。尚、低温のため性能が低下した電池は常温に戻せば回復します。
- PE-60SGは、専用のTRパワーパック3型 (PW-223) かACユニット5型をご使用ください。

TRパワーパック3型の接続

- 1、TRパワーパック3型の電源スイッチをOFFにして、電池を極性表示に従って挿入します。
- 2、PE-60SGとTRパワーパック3型を電源コード4型で接続します。
- 3、TRパワーパック3型の電源スイッチをONにします。



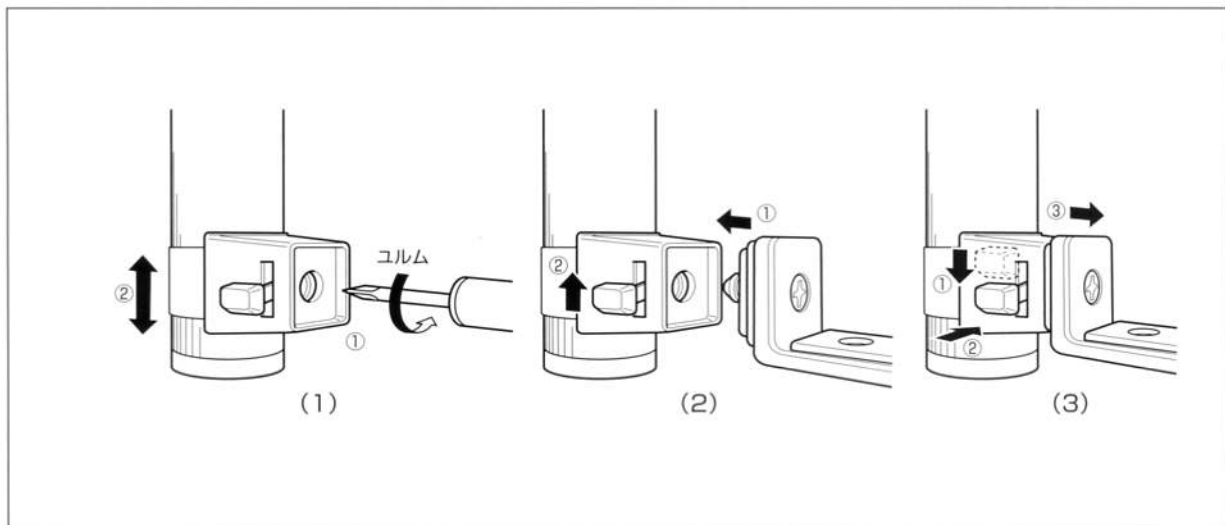
※TRパワーパック3型のパイロットランプは、電池の接続を知らせるランプです。

パイロットランプが点灯しないときは、電池が完全消耗しているか、電池の方向間違いの可能性があります。確認ください。

※電池の消耗レベルはストロボのパイロットランプ点灯時間で確認してください。

- 4、PE-60SGからコードを外すときは、電源スイッチをOFFにしてから電源コードソケット解除ノブを押し下げながら引き抜きます。

ブラケットの取付け方



- (1)ネジをドライバーでゆるめ、クランプリングを好みの位置にセットして、ネジを締めつけます。
- (2)ブラケットをクランプリングに差し込み、ロックレバーを押し上げて固定します。

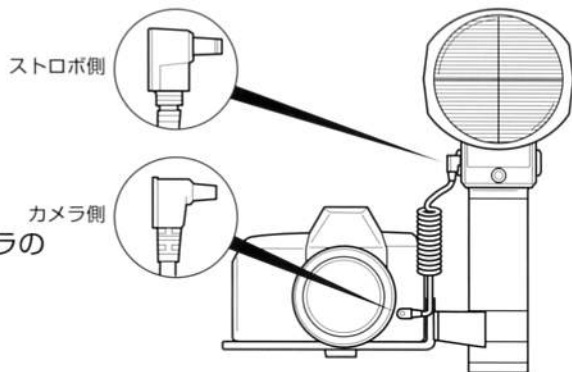
- (3)取り外すときは、ロックレバーを押し下げ、押し込みながらブラケットを引き抜きます。

● 中型カメラ用ブラケット

中型カメラをご使用の場合には、別売の中型カメラ用ブラケット(PP-BR66A)をお求めください。

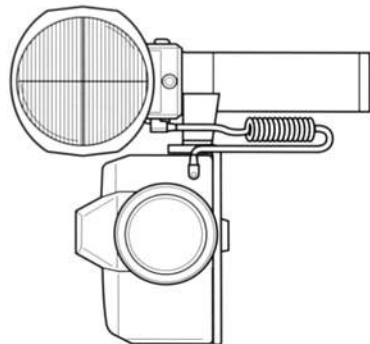
カメラへの取付け方

- シンクロソケットのあるカメラの場合
シンクロコードでPE-60SGと接続します。
- シンクロソケットのないカメラの場合
別売のリモートセンサ3型 (PW-13S) で、カメラの
シューに接続できます。(P28参照)



カメラの縦位置使用について

カメラを縦位置で使用される場合は、PE-60SGのクランプリング位置を動かしてグリップの上部に移動させれば、カメラとPE-60SGの発光面の光軸を一致させる事ができます。(クランプリングの移動方法はP12参照)



シャッタースピードの選択

- カメラのシャッタースピードをセットします。

フォーカルプレーンシャッターの場合										
手ブレ					安全		幕切れ			
B	1	$\frac{1}{2}$	$\frac{1}{4}$	$\frac{1}{8}$	$\frac{1}{15}$	$\frac{1}{30}$	$\frac{1}{60}$	$\frac{1}{125}$	$\frac{1}{250}$	$\frac{1}{500}$

レンズシャッターの場合										
手ブレ					安全					
B	1	$\frac{1}{2}$	$\frac{1}{4}$	$\frac{1}{8}$	$\frac{1}{15}$	$\frac{1}{30}$	$\frac{1}{60}$	$\frac{1}{125}$	$\frac{1}{250}$	$\frac{1}{500}$

この事例は、ストロボ同調スピードが1/60秒のカメラの場合です

- フォーカルプレーンシャッターカメラの場合

ストロボ同調スピードより低速にセットします。

(同調スピードはカメラの取扱説明書を参照いただくか、カメラメーカーにお問い合わせください。)

※同調スピードを超えるシャッタースピードでは、写真が幕切れ状態になります。

※あまり低速の場合(1/15秒以下)では手ぶれの可能性があります。低速のシャッタースピードの場合は三脚等をご利用ください。

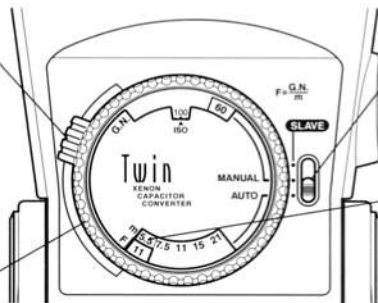
- レンズシャッターカメラの場合

1/500秒以下のスピードに同調します。

オート撮影

● ストロボ側の設定

1、ISO感度を（使用されるフィルム感度）合わせる



2、モード切替をAUTO側にする

※オート有効距離、遠点側が表示されている

3、F値／ガイドナンバー切替ダイヤルを回して、希望するF値を選択します。

● カメラ側の設定（カメラはマニュアルモードにセットしてください。）

(1) 上記操作で決定した、F値をカメラにセットします。

(2) カメラのシャッタースピードをセットしてPE-60SGのパイロットランプが点灯すれば準備完了です。（P14シャッタースピードの決め方参照）

● ご注意

モード切り替えスイッチをAUTO側にした場合、操作ダイヤルのガイドナンバー表示は無関係です。

ISO感度を必ず合わせてください。間違えると露出が不正確になります。

オート撮影時のご注意

オートチェック通知

- オートで発光させた時、オートチェックランプとブザーでオート回路が作動した事をお知らせします。通知しないときは、オートF値の設定または撮影距離を変えてください。
- オート有効距離は、P26の仕様書を確認ください。ISO100以外のフィルム使用時は下記の比較図を参照して、ISO100のオート有効距離をあてはめてください。

ISO25	ISO50	ISO100	ISO200	ISO400	ISO800	ISO1600
F1.4	F2	F2.8	F4	F5.6	F8	F11
F2	F2.8	F4	F5.6	F8	F11	F16
F2.8	F4	F5.6	F8	F11	F16	F22
F4	F5.6	F8	F11	F16	F22	F32
F5.6	F8	F11	F16	F22	F32	F44

← 同一有効距離 →

表の見方：①フィルム感度 ISO800
の時、F16を選んだ場合
は、ISO100のF5.6と
同じ有効距離です。
②ISO25のF2.8と
ISO100のF5.6と
ISO400のF11は同じ
有効距離です。

- ①被写体に比べバックが極端に暗く反射率の低い場合は約半絞り絞り込み、真白い壁のように反射率が高い場合は約半絞り開いてください。
また、バックが鏡、金屏風などの場合は反射率が高すぎるためオート回路が誤作動する場合がありますのでマニュアルにしてお使いください。
- ②被写体との間にしゃへい物があったり、受光窓をふさぐとオート回路が正常に作動しません、ご注意ください。

バウンス撮影

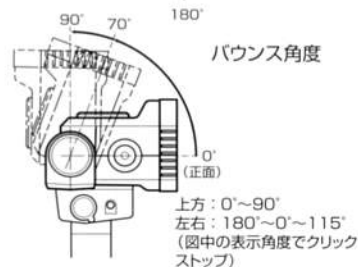
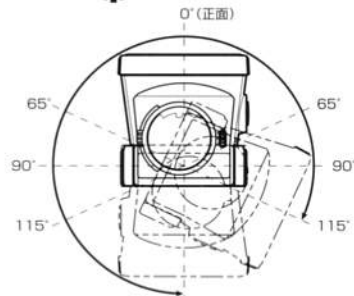
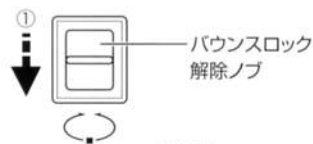
光を天井・壁等の反射面にバウンスさせてソフトな照明が得られます。

●オートバウンス撮影

- (1) 操作は通常のオート撮影と同じです。
- (2) 被写体の位置を決定後、ストロボの発光部を希望のバウンス角度に向けます。左右バウンスの場合、0°位置でバウンスロックがかかりますので、バウンスロック解除ノブを押し下げながら回転させます(矢印①)。

●ご注意

- (1) バウンス撮影の場合、反射面の反射率によりオート有効距離が短くなることがありますのでご注意ください。
- (2) バウンス角度は原則として、反射面での入射角と反射角が等しくなるように調節しますが、直接光が被写体に当たらない様に注意してください。
- (3) カラー撮影の場合、反射面が白色以外のときはカラーバウンスが崩れる事がありますのでご注意ください。



マニュアル撮影

- ストロボ側の設定
1. ISO感度を合わせる

4. 被写体までの距離を測定し、下記の計算式で絞り値を決定する。

$$\text{絞り値 (F 値)} = \frac{\text{上記ダイヤルに表示されたガイドナンバー}}{\text{被写体までの距離 (単位: m)}}$$

- カメラ側の設定 (カメラはマニュアルモードでご使用ください。)

上記操作で決定した、F値をカメラにセットします。

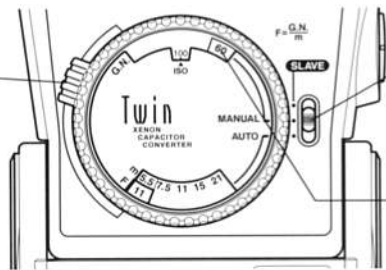
カメラのシャッタースピードをセットしてPE-60SGのパイロットランプが点灯すれば準備完了です。(P14シャッタースピードの決め方参照)

モード切り替えスイッチをMANUAL側にした場合でも、操作ダイヤルにはオートF値が表示されていますが無関係です。

パワーコントロール

- このストロボは撮影目的 (デーライト撮影、モータードライブへの追従等) に応じてマニュアルの発光量を5段階に切り替える事ができます。基本的には、マニュアル撮影と同一操作です。
- F値/ガイドナンバー切り替ダイヤルで、ガイドナンバーを選び、撮影距離から絞り値 (F 値) を算出してください。

ISO感度を必ず合わせてください。間違えると露出が不正確になります。



2. モード切替をMANUAL側にする
3. ガイドナンバーを読み取る

マニュアル (FULL発光) で連続発光される場合は20回を目安に約15分休止して、発光部の過熱を防いでください。

露出補正

PE-60SGは、露出補正ダイヤルでプラス・マイナスそれぞれ1絞りの間で微妙な露出補正ができます。露出補正ダイヤルは、AUTO, MANUAL, SLAVE、どのモードでも変化します。デジタルカメラのように、補正結果がすぐに確認できるカメラであれば好みの露出を選択できます。※マニュアル撮影FULL発光時では補正できません。

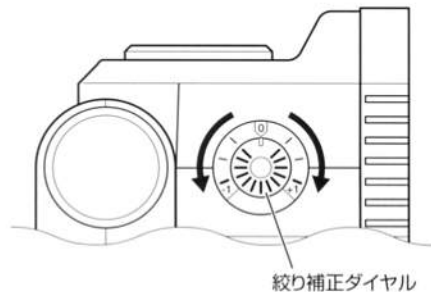
使用方法

露出補正ダイヤルを押しながら、回転させてください。右に回すとプラス補正、左に回すとマイナス補正です。回しきった位置がそれぞれ、1絞りの補正です。途中で、回転を止めると弱めの補正となります。

※終了時は補正ダイヤルを中央に戻してください。
そのままでは、常に補正が行われます。

補正值について

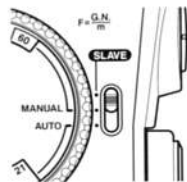
例えば、オートF値：F 5.6の場合 +1の場合 F 8
-1の場合 F 4 の光量 となります。



スレーブ機能の使い方

PE-60SGには、スレーブ機能が内蔵されています。

- (1) カメラ側ストロボとPE-60SG（以下、本機）の位置を決めます。
- (2) 本機のスレーブ受光窓をカメラ側ストロボの直射光または反射光が受けられる方向に向けます。
本機のモード切替スイッチをSLAVE側にします。



- (3) 両方のストロボのパイロットランプ点灯を確認します。
 - (4) カメラ側ストロボを発光させ、本機が発光するか確認します。発光しないときはどちらかのストロボの位置や方向、作動距離を変えて調整します。
(作動距離は、両方のストロボが正対した場合、約20mです)
- (カメラ側ストロボのガイドナンバー20のとき)
- (5) 本機は光量の切替えができます。撮影の条件に応じて好みの光量に変えてください。
切替方法は、P18のパワーコントロールを参照してください。

(ご注意)

- カメラ側のストロボはマニュアルでご使用ください。
- 本機は必ずSLAVE位置にしてください。
- 本機はカメラのAF補助光やプリ発光でもスレーブ発光することがあります。
本撮影の前に必ずテスト発光を行って確認してください。
- スレーブモードは、テスト発光およびモデリング発光は動作しません。

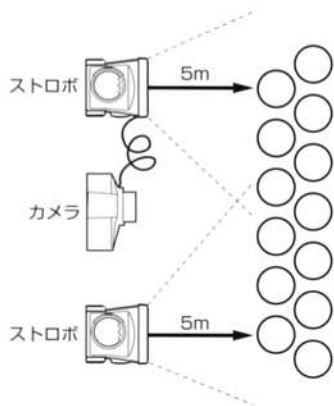
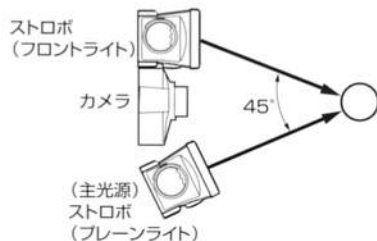
増灯時の集合写真

増灯時のストロボの位置によって、効果が異なります。

- 同じ方向に向かって、2台照射した場合
被写体に当たる光は、2倍の明るさになります。
つまり、1絞り絞る事ができます。
ガイドナンバーは、次の方法で計算できます。

$$2\text{台のガイドナンバー} = \sqrt{(1\text{台のガイドナンバー})^2 + (\text{もう1台のガイドナンバー})^2}$$

- ストロボを離して、増灯する場合
照射方向をずらして照射する事で、集合体の中心と周辺が均等に近い露出になる効果があります。
この場合は、ガイドナンバーは変わりません。
例：ガイドナンバー60を2台、距離5mの場合 $60 / 5 = 12$
12という絞りはないので、F11がカメラ側の絞りとなります。



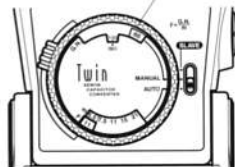
デライト撮影

逆光撮影（被写体の後方が明るい場合、例えば被写体が窓際の場合等）や日中シンクロ（屋外）の場合に効果的な撮影方法です。

●撮影方法（カメラはマニュアルモードにしてください。）

- (1) 露出計で、撮影画面の明るさを測ります。（カメラの露出計または市販の露出計）。
- (2) 測光時、カメラのストロボ同調スピードに合う絞りを読み取ります。
- (3) 上記の絞りに、撮影距離をかけて必要なガイドナンバーを算出します。
- (4) PE-60SGをマニュアルモードにして、上記のガイドナンバー値を選択します。
- (5) カメラに絞りとシャッタースピードをセットして撮影準備完了です。

ガイドナンバー値



●撮影例

例えば、お手持ちのカメラのX接点スピードが1/125秒、撮影距離が5mの場合、カメラの露出計で撮影画面の明るさを測り1/125秒、絞りF8と測光された時、必要なガイドナンバーは下記の通りです。

$$F8 \times 5m = 40 \text{ (ガイドナンバー40)}$$

PE-60SGのモード切り替スイッチをMANUAL側にして、ガイドナンバーを40に近い42にセットします。

カメラに絞りF8とシャッタースピード1/125をセットして撮影準備完了です。

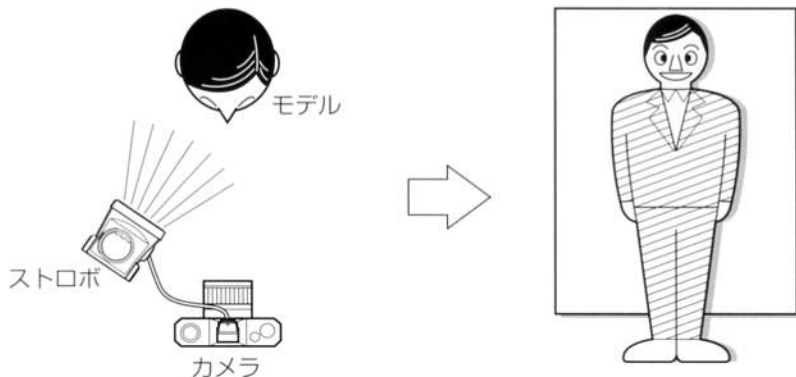
モデリング発光

撮影の前に、被写体を照明して影の状態を確認することができます。

ストロボのパイロットランプが点灯している事を確認して、モデリング発光ボタンを押してください。押し続けている間は、連続発光します。

(注意)

- モデリング発光は影の方向や面積を確認するもので、影の強弱は実際の撮影と異なります。
- 明るい場所や、屋外では確認できません。
- モデリング発光は発光部が高温になります。連続使用される場合は、休止時間を設けてください。



お手入や保管のしかた

- 風通しの良い乾燥したところで保管してください。

高温多湿の所、車の中、直射日光の当る場所、
防虫剤の入ったたんすの中は避けてください。

- 長期間使用しないときは、TRパワーパック3型から電池を取り出してください。

電池が液漏れすると、機器の故障の原因となります。
電池を取り出して、保管してください。

- ストロボのグリップに、TRパワーパック3型のコードを巻き付けた状態で保管しないでください。

長期間、コードにストレスをかけた状態で保管すると、
断線、ショート等の原因となります。

故障かな

こんなとき	調べるところ	直しかた
PE-60SGのパイロットランプが点灯しない。	TRパワーパック3型の電池が消耗していませんか。	電池を交換してください。
//	電源コードの差し込みがゆるんでいませんか。	コードのプラグを深く押し込んでください。
テストボタンを押しても、シンクロコードでも発光しない。	モード切替スイッチがSLAVEになっていませんか。	AUTO MANUALモードにしてください。
マニュアル時の光量が少ない。	パワーコントロールモードになっていませんか。	ダイヤルを好みのガイドナンバー位置にしてください。
オート時、近距離でもフル発光になる。	マニュアルモードになっていませんか。	オートモードにしてください。
発光部が、左右にバウンスしない。	バウンス時、ロック解除ボタンを押していますか。	ロック解除ボタンを押しながらバウンスさせてください。

仕様

- ガイドナンバー (ISO100・m) TRパワーパック3型(PW-223)使用時、()はACユニット5型使用時

	FULL	1/2	1/4	1/8	1/16
ガイドナンバー	60 (54)	42 (38)	30 (27)	21 (19)	15 (13.5)

- オート有効距離 (ISO100・m) TRパワーパック3型(PW-223)使用時、()はACユニット5型使用時

オートF値	F2.8	F4	F5.6	F8	F11
オート有効距離	約1.5~21m (約1.5~18m)	約1.0~15m (約1.0~12m)	約0.7~11m (約0.7~9m)	約0.7~7.5m (約0.7~6m)	約0.5~5.5m (約0.5~4.5m)

- 発光間隔

- 追従性能

電 源	オート	マニュアル FULL	G.N15 (ISO100/m) の時の連続発光回数		
			5コマ(0.2秒)	2コマ(0.5秒)	1コマ(1秒)
TRパワーパック (アルカリ単2形×6本) LR14	約0.2~ 7秒	約7秒	7回	15回	40回
TRパワーパック(ニッケル水素電池単2形×6本)	約0.2~ 2.5秒	約2.5秒	10回	40回	40回
ACユニット5型 (PW-305)	約0.2~ 5秒	約5秒	5回	40回	40回

- 発光回数

電 源	オート	マニュアル
TRパワーパック (LR14×6本)	約190~1,200回	約190回
TRパワーパック (ニッケル水素電池×6本)	約140~450回	約140回

- 光質 デーライトタイプカラーフィルムに適合
- オート受光角 約20°

仕様

●せん光時間

オート マニュアル	FULL	1/2	1/4	1/8	1/16
	約1/500秒	約1/700秒	約1/1600秒	約1/2500秒	約1/4500秒

●照射角度

フィルムサイズ	使用可能な焦点距離
35mm	35mmレンズカバー
6×4.5	55mmレンズカバー
6×6	65mmレンズカバー
6×7	75mmレンズカバー
6×9	90mmレンズカバー
4"×5"	120mmレンズカバー

●バウンス角度

上方：0°～90°(0、70°、90°でクリックストップ)

左右：180°～0°～115°(180°、115°、90°、65°、0°、60°、90°、115°でクリックストップ、但し0°位置でオートロック付)

- 大きさおよび重さ 本体：幅98mm・奥行116mm・高さ257mm 約750g (ブラケット別)
- 電源 TRパワーパック3型 (PW-223)、ACユニット5型 (PW-305)
- セット内容 1mシンクコード、クランプリング、クランプモールド、35mmブラケット、TRパワーパック3型 (電源コード付)

※数値は常温時 (20℃)、新品電池の使用時の値です。

※発光間隔とはパイロットランプが点灯するまでにかかる最短時間です。

別売付属品

- リモートセンサー3型 (PW-13S)
オート受光部をPE-60SGから離し、リモートセンサーに移動しますので、ハンドライティング等、立体感のある撮影ができます。
又、ホットシューを使用するのでシンクロソケットの無いカメラでもPE-60SGを接続できます。
- ACユニット5型 (PW-305) : AC電源を使用して、PE-60SGを使用できます。
- パネルセット6型 (PW-36P) : PE-60SGの照射角度を調整することができます。
パネルセット6型、使用時のPE-60SGの特性

ガイドナンバー (ISO100・m) (TRパワーパック3型 (PW-223) 使用時)

パネル \ フィルム	FULL	1/2	1/4	1/8	1/16
WIDE24mm	30	21	15	11	7.5
TELE135mm	80	57	40	28	20

オート有効距離 (TRパワーパック3型 (PW-223) 使用時)

パネル	オート有効距離				
	F2.8	F4	F5.6	F8	F11
WIDE24mm	約1.5~11m	約0.7~7.5m	約0.7~5.5m	約0.7~3.7m	約0.5~2.7m
TELE135mm	約2.5~30m	約2.0~21m	約1.5~15m	約1.5~11m	約1.0~7.5m

照射角度

パネル \ フィルム	35mm	6×4.5	6×6	6×7	6×9	4"×5"
WIDE24mm	24mm	45mm	55mm	65mm	65mm	90mm
TELE135mm	135mm	250mm	350mm	350mm	350mm	600mm

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理はサービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他お問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

パナソニック お客様ご相談センター

☎ **0120-878-365**

フリーダイヤル（料金無料）365日／受付9時～20時

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。良くお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■修理を依頼される時

25ページの故障かな？に従ってご確認のあと、直らないときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。

■保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店で修理をさせていただきますので、恐れいりますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

■保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。ただし、ストロボの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年です。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張費などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

愛情点検

長年ご使用のストロボの点検を！

このような現象は
ありませんか

- 電源コードやプラグが異常に熱い
- 煙が出たり、異常な臭いや音がある
- 水や異物が入った
- その他の異常や故障がある

このような現象のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため、
コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年 月 日	品番	PE-60SG
販売店名	TEL		
お客様相談窓口	TEL		

パナソニック株式会社

パナソニック フォト・ライティング株式会社

〒569-1193 大阪府高槻市幸町1番1号
TEL 072-682-7626